

NEWS RELEASE www.jogmec.go.jp

独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構



問合せ先:プロジェクト推進部
高橋・田中 TEL:044-520-9318

広報担当:総務部広報課
今 TEL:044-520-8592

カザフスタン共和国・北カスピ海沖合鉱区

カシャガン油田開発事業の第二次債務保証採択について

独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEC 理事長:河野 博文)は、カザフスタン共和国 北カスピ海沖合鉱区においてインペックス北カスピ海石油株式会社(代表取締役社長:黒田直樹氏)がENI社(伊)等と共同で行っているカシャガン油田開発事業について、債務保証対象プロジェクトとして採択しました。

JOGMECは、同プロジェクトについて、我が国への石油供給の多様化に資する等、エネルギーセキュリティ上の効果が大きい案件であり、技術的・経済的にも妥当なものであると判断し、開発作業の進展を踏まえ、2005年10月の第一次債務保証採択に続き、今般採択を行ったものです。これにより、JOGMECは、同社が分担する、カシャガン油田の開発作業に当面必要な借入資金 23.1億米ドルのうち、50%につき保証(保証見込額11.55億米ドル)を実施します。

インペックス北カスピ海石油株式会社は、1998年に、カザフスタン共和国 北カスピ海沖合鉱区(カザフスタン共和国アティラウ市の南東約70km)の権益を取得し、2000年に試掘に成功しました。カシャガン油田の発見は、1968年の米国アラスカのプルドーベイでの発見以降の世界における最も重要なものと位置づけられており、2004年にカザフスタン政府より商業生産に向けた開発計画の承認を得ています。

今回債務保証採択を行ったカシャガン油田の第一段階の開発(Experimental Program)は、2012年末を目途に原油生産開始を予定しており、原油生産量(プラトー生産量)は、日量30万バレル、続いて2015年頃に日量45万バレルに逐次増加する計画です。

また、段階的な開発作業の実施により、将来のカシャガン油田の全体開発では、原油生産量(プラトー生産量)は、2010年代末に向けて日量150万バレルに達する予定です。

■ プロジェクトの概要

1) 会社概要

- ・名称 インペックス北カスピ海石油株式会社
- ・設立 1998年8月6日
- ・本社所在地 東京都港区
- ・代表取締役 黒田 直樹 氏
- ・資本金 502.8億円(2008年10月末時点)
- ・株主構成 JOGMEC50.0%、国際石油開発帝石(株)45.0%、三菱商事(株)2.5%、石油資源開発(株)2.5%

2) 鉱区位置(添付図参照)

カザフスタン共和国 北カスピ海沖合鉱区(カザフスタン共和国のアティラウ市の南東約70km)

3) 沿革

- ・ 1998年9月、インペックス北カスピ海石油株式会社はカザフスタン国営石油会社(KCS)より鉱区権益を取得。
- ・ 2000年7月、カシャガン構造で試掘成功。
- ・ 2002年6月、カシャガン構造の商業発見を宣言。
- ・ 2004年2月、カザフスタン政府が、カシャガン油田開発計画を承認。

4) 共同事業者及び権益比率

権益保有者	権益比率
インペックス北カスピ海石油	7.56%
ENI(伊)	16.81%
ExxonMobil(米)	16.81%
Shell(英・蘭)	16.81%
Total(仏)	16.81%
KazMunayGas(カザフスタン)	16.81%
ConocoPhillips(米)	8.40%
合計	100%

5) カザフスタン領北カスピ海沖合鉱区カシャガン油田開発事業の概要

2012年末を目途に生産を開始する予定。生産原油は、パイプライン、鉄道輸送等により出荷される計画。会社引取分の生産原油については、代替原油が日本に持ち込まれる予定。

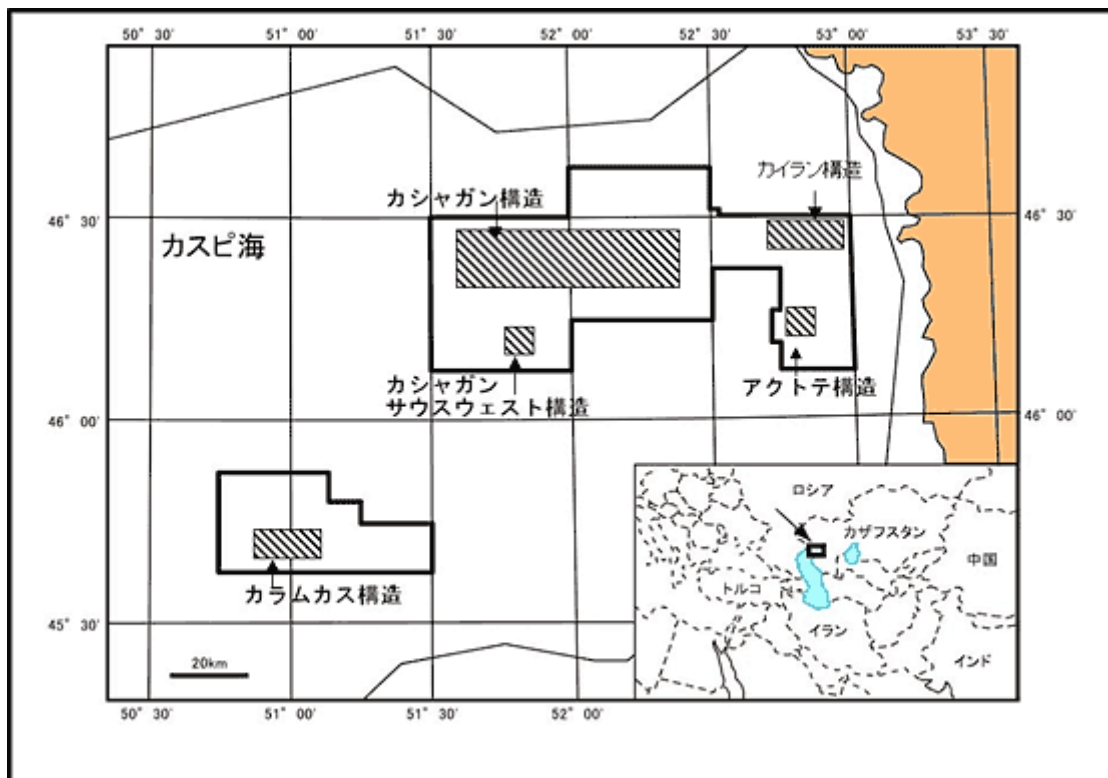
■ 債務保証見込額 11.55億米ドル(借入予定額23.1億ドルの50%)

■ 採択理由

本プロジェクトについては、①技術的事項、②経済的事項、③事業実施関連事項等の観点からJOGMECの採択審査基準を満たすと判断されること等から、債務保証対象事業として採択することとした。

なお、本プロジェクトの採択に際しては、経済産業大臣と協議し、同意を得ている。

鉱区位置図



カザフスタン共和国北カスピ海沖合鉱区図